

大好き!絵本

初瀬 恵美

ご入園*ご進級おめでとうございます

今年は、新しく入園してくださったお子さんが多く、にぎやかな新年度を迎えています。ご入園、ご進級おめでとうございます！今年もこのコーナーではできるだけいろいろなジャンルから絵本を紹介していこうと思っています。よろしくお願いします。

4月の絵本は『いちにちおもちゃ』を紹介させていただきます。この絵本は3月に退職した二人の職員（なおちゃん、ひーちゃん）が、保育園に寄贈してくれた絵本の中の一冊です。二人らしく、明るく楽しい絵本にすぎ付けになりました。

いちにちおもちゃ

著者：ふくべ あきひろ
え：かわしま ななえ



『いちにちおもちゃ』
さく:ふくべ あきひろ
え:かわしま ななえ
出版社:PHP研究所

主人公は、表紙の男の子。この子が「おもちゃって、たのしそうだな。よし、いちにち おもちゃになってみよう。」とおもちゃに変身してゆくストーリーです。

「楽しそう」と思って始めてみたのに、経験するのは、大変なことばかり。例えば「いちにち くれよん」と言ってクレヨンになってみると顔を紙にこすりあてられ「ずりずり いたたた~」とクレヨンの大変さを体験します。（右の絵）その後男の子はこりずに、コマになってみたり、ぬりえやけん玉など、身近なおもちゃに次々に変身してゆきます。でも、どれもこれも大変なことばかり。とうとう最後に、男の子は「おもちゃってたいへんだなあ。いちにち おもちゃであそんだら ちゃんとおかたづけしてあげなくちゃ。」と身に染みてしみじみとつぶやき、きれいにお片付けするのです。



「いちにちクレヨン」



「ずりずり
いたたた~」

子どもたちって、遊ぶのは大好きだけど、片づけるのは嫌いな子が多いですね。実はこの絵本の作者の息子さんもお片付けが苦手だそうです。そして、そんな息子さんのために書いた絵本だそうです。だからと言って「片づけ主義」になっていないのが、この絵本のとってもいいところ！子ども達の大好きな身近なおもちゃに、子ども達と年齢の近い「男の子」がなってみる、という視点でかかっているから、とっても感情移入がしやすいのです。そして、ふだん何気なく楽しんでいる遊びが、おもちゃの視点から見ると、とんでもなく悲惨な状況であることが、おもしろおかしく、ダイナミックに描かれているのです！常識をはるかに超えた笑いのツボに大人もきっとはまってしまおう、おすすめ絵本です！

